

2020年度 行事報告にかえて

たいへん残念なことに、新型コロナウイルス感染症‘COVID-19’により、すべての行事が中止を余儀なくされることとなった。

2019年秋の超大型台風15号（令和元年房総半島台風）の襲来により破壊された公園施設等が日に日に復旧され、2020年度の観察会は例年通りにできるかな、と思っていた。

年が明けてスライド会が終了したころ、未知のウイルスによる肺炎が日本でも確認されたというニュースを耳にしたが、いまの医学をもって完治できると思っていた。しかしニュースはこの話題を刻々と伝えるようになり、テレビのなかの重大事件は急に身近な危険へと変化した。感染者は日を追うごとに増加、来年度の行事仮案を決める年度末、移動の自粛により人々の活動は停滞をはじめ、ついに4月7日、千葉県を含む7都府県に緊急事態宣言がだされた。

期間延長を経て5月25日に解除されたが、終息の見通しは立っていない。はたして観察会はできるのだろうか。きのこの観察会は、屋外とはいえ同定会ではどうしても「密」になってしまう。感染防止策で2m以上距離をあけるとなれば、もし雨が降ったとき屋内で活動できるのか。感染しても軽症や無症状の人もあるという。高齢者は重症化しやすい。さて、どうしたものか。6月に予定している総会の直前まで幹事はテーブルを囲むことなくネットを通じて相談を重ね、やむなく観察会はすべて中止にすることを決定した。しかしスライド会は保留し、年末に改めて決定する、という2段構え。

夏に第2波、空気の乾燥してきた秋に第3波が到来、そして懸案として残したスライド会の開催を決定し会員に連絡する約束の年末を迎えた。例年会場としている中央博物館の講堂は、ソーシャルディスタンスをとっての入場となると参加人数の制限をしなくてはならず、開催は難しそうであったため、千葉市の所有する約500名が入れる会場を事前に確保し、2月の開催を試みたが、すでに感染は急速拡大から蔓延している状態になりつつあったため、諸状況から開催1か月前になってやはり中止を決定した。その後、政府から2回目の緊急事態宣言が出され、今回も途中で期間が延長となった。まだまだ先は長そうである。今年度は本会30周年ということで、当初スライド会後は盛大にお祝いをもおもっていたが、予期せぬ事態となってしまった。しかし楽しみはあとにとっておき、一日も早く安心してこれまでの活動ができることを願ってやまない。



Illustration by kikuno